



令和4年度当初予算(案)の概要

～ 主要事項編 ～

2022

令和4年度当初予算(案) 主要事項

事業数 82 事業 < 新規 28事業・充実 28事業・継続 26事業 >

(単位:千円)

1)互いを認め合う、ふれあいのまちづくり	所 管 課	予 算 額	ページ
亀岡市人権条例(仮称)制定推進事業 《人権啓発推進経費》	新規 人権啓発課	388	1
修学旅行における平和学習補助事業 《教育研究会等経費(中学校費)》	新規 学校教育課	1,600	1
東部児童館改修整備事業 《地域振興事業費》	継続 人権啓発課	120,456	2
ジェンダー平等及び性の多様性の尊重を実現するまちづくり事業 《男女共同参画推進経費》	充実 人権啓発課	8,457	2
移住定住促進事業 《移住・定住促進経費》	継続 SDGs創生課	41,911	3
2)安全で安心して暮らせるまちづくり	所 管 課	予 算 額	ページ
安全で安心して暮らせるまちづくり推進事業 《セーフコミュニティ推進事業経費》	継続 自治防災課	2,255	4
消防団員処遇改善事業(消防団出動報酬) 《消防団経費》	充実 自治防災課	10,630	4
消防団活動のための消防施設整備事業 《消防施設整備事業費》	継続 自治防災課	11,900	5
避難所備蓄品の充実 《災害対策経費》	継続 自治防災課	2,481	5
Car Shelter野水(仮称)整備事業(車中泊避難場所の整備) 《災害対策経費》	新規 自治防災課	33,425	6
防災土養成事業 《災害対策経費》	新規 自治防災課	2,706	6
かめおか防災キャンプ2022(仮称)の開催 《災害対策経費》	新規 自治防災課	1,002	7
自然災害からみんなを守る河川災害等防止対策事業 《排水路新設改良事業費/河川改良事業費/河川維持経費》	充実 桂川・道路交通課 土木管理課	121,048	7
生命のメッセージ展inかめおか(仮称)の開催 《交通安全対策経費》	新規 自治防災課	599	8
相続相談事業 《広聴経費》	新規 市民課	403	8

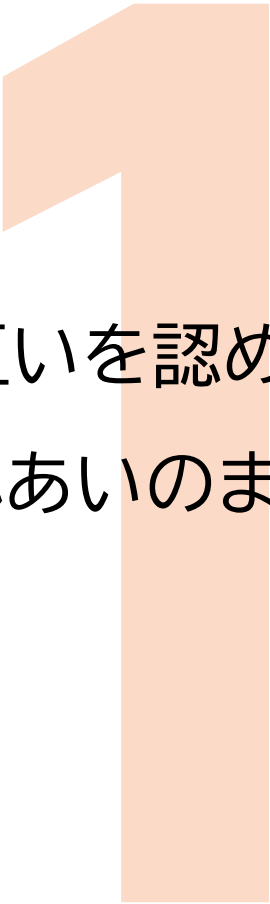
3)子育て・福祉・健康のまちづくり

	所管課	予算額	ページ
こども医療費助成事業 《こども医療費助成経費》	継続 子育て支援課	249,298	9
こども宅食事業 ～こどもの地域見守り強化事業～ 《要保護児童対策経費》	充実 子育て支援課	39,789	9
臨時特別出産祝金支給事業 ～コロナ過の出産・子育てを応援～ 《新生児特別定額給付金事業経費》	新規 子育て支援課	56,920	10
こども木育ひろば事業 ～「木」とともに豊かに育つこどもたち～ 《こどものあそびば整備等事業経費》	新規 子育て支援課	112,728	10
産婦健康診査などの導入 《母子保健事業経費》	新規 子育て支援課	11,714	11
子どもたちの豊かな心とからだを育む保育事業 《公立保育所等施設運営経費》	充実 保育課	81,353	11
放課後児童健全育成事業(放課後児童会) 《放課後児童対策経費》	充実 社会教育課	193,990	12
(仮称)いきがい健幸ポイント制度事業 《保険者機能強化推進事業経費》	新規 高齢福祉課	10,000	12
重度障がい者等就労支援特別事業 《地域生活支援事業経費》	新規 障がい福祉課	1,090	13
福祉都市宣言40周年記念事業 《福祉都市推進経費》	新規 障がい福祉課	200	13
ずっと住みたいまちを目指す「重層的支援体制整備事業」への移行準備事業 《重層的支援体制整備事業経費》	充実 地域福祉課	6,514	14
市民の健康を守る予防接種事業 《予防接種経費》	充実 健康増進課	550,007	14

4)豊かな学びと文化を育むまちづくり		所管課	予算額	ページ
学校規模適正化事業(別院中学校ブロック) 《事務局事務経費/学校運営経費(中学校費)/ 学校施設管理経費(中学校費)/通学安全対策経費(中学校費)》	新規	教育総務課 学校教育課	20,304	15
学校司書配置事業 《事務局事務経費》	新規	学校教育課	5,035	15
よりよい教育環境をめざす学校施設整備の推進 《学校建設事業費(小学校費)》	充実	教育総務課	572,064	16
外国語教育をはじめとする教育環境充実事業 《外国語指導助手設置経費/学校運営経費(小・中学校費)/ 専科指導推進事業経費/教育研究会等経費(中学校費)》	充実	学校教育課	35,417	16
学びの応援サポーター配置事業 《学びを支える教育推進経費(小学校費)》	新規	学校教育課	4,033	17
有機米給食提供事業 《給食センター管理経費》	新規	学校給食センター	2,075	17
人型ロボット活用事業 《みらい教育リサーチセンター事業経費》	充実	みらい教育 リサーチセンター	5,519	18
図書館中央館リニューアル推進経費 《図書館管理運営経費》	新規	図書館	8,000	18
ギャラリーかめおか長寿命化対策事業 《生涯学習推進経費》	継続	市民力推進課	34,924	19
二十歳式典実施事業 《二十歳式典経費》	継続	社会教育課	2,145	19
京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成プロジェクト 《生涯スポーツ振興経費》	新規	生涯スポーツ課	3,000	20
亀岡運動公園競技場改修事業(三種公認対応) 《体育施設管理運営経費》	充実	生涯スポーツ課	265,113	20
安全で快適な月読橋球場トイレ整備事業 《体育施設管理運営経費》	新規	生涯スポーツ課	68,000	21
地球環境子ども村事業 《地球環境子ども村推進経費》	継続	市民力推進課	3,167	21
文化財保存活用地域計画作成事業 《文化財保存活用地域計画作成事業》	継続	歴史文化財課	8,629	22
「かめおか霧の芸術祭」関連事業 《文化振興経費》	継続	文化国際課	21,000	22
5)地球にやさしい環境先進都市づくり		所管課	予算額	ページ
世界に誇れる環境先進都市推進事業 《環境先進都市推進事業経費》	充実	環境政策課	120,365	23
地球にやさしい環境先進都市かめおかの環境像を描く事業 《環境にやさしいまちづくり推進経費》	充実	環境政策課	18,612	23
清潔で快適なまちづくり推進事業 《環境保全対策経費》	充実	環境政策課	17,265	24
有機農業推進事業 《有機農業推進事業経費》	充実	農林振興課	7,074	24
保津川を通して学ぶ、環境に対する心を育むふるさと体験事業 《ふるさと学習推進経費(小・中学校費)》	充実	学校教育課	10,840	25
亀岡市ゼロエミッション計画推進事業 《ごみ減量・資源化等推進事業経費》	充実	環境クリーン推進課	123,297	25
楽しく親しみやすい公園整備事業 《公園緑地管理経費/公園緑地整備事業費/公園緑地整備事業費(単独)》	充実	都市整備課	405,771	26
「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト 《緑花推進経費》	継続	都市整備課	5,355	26

6)活力あるにぎわいのまちづくり	所管課	予算額	ページ	
サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業 《商工業振興対策経費》	継続	商工観光課	35,697	27
「オープンイノベーションセンター・亀岡」整備運営事業 《商工業振興対策経費》	新規	商工観光課	220,000	27
「川の駅・亀岡水辺公園」運営推進事業 《観光推進経費》	継続	商工観光課	5,916	28
デジタルマップ発信支援経費 《観光推進経費》	新規	商工観光課	2,000	28
主食用水稻生産維持緊急支援事業 《特産品等振興経費》	新規	農林振興課	56,549	29
農産物直売所整備支援事業 《食農ブランド事業経費》	新規	農林振興課	30,493	29
地域担い手応援事業 《地域営農担い手条件整備事業経費》	継続	農林振興課	10,000	30
ウッドスタート事業 《森林活用推進事業経費》	新規	農林振興課	7,982	30
森林活用推進事業(新たな森林管理制度) 《森林活用推進事業経費》	充実	農林振興課	9,000	31
7)快適な生活を支えるまちづくり	所管課	予算額	ページ	
安全・安心で快適な道づくり事業 《道路新設改良事業費/街路事業費》	継続	桂川・道路交通課 土木管理課	427,087	32
魅力ある空間づくり事業 《街路灯管理経費》	新規	土木管理課	30,000	32
バスの魅力再発見！ノーマイカーDay事業他 《バス交通関連経費》	充実	桂川・道路交通課	134,596	33
気候変動を踏まえた防災・減災のあり方検討事業 《桂川流域治水対策経費》	新規	桂川・道路交通課	2,180	33
緑の基本計画改訂事業 《都市計画決定業務経費》	充実	都市計画課	6,820	34
亀岡駅南周辺地区”歴史的景観を活かした新たなまちの顔づくり”事業 《景観形成事業経費/土地区画整理関連事業費/公園緑地整備事業費/ 道路新設改良事業費》	充実	都市計画課 都市整備課 桂川・道路交通課	276,075	34
人と環境にやさしいまちづくりを支援する事業 《土地区画整理関連事業費》	継続	都市整備課	233,900	35
安全なわが家の耐震化促進事業 《安全なわが家の耐震化促進事業費》	継続	建築住宅課	12,060	35
デジタルマーケティングを活用したシティプロモーション事業 《広報経費》	充実	広報プロモーション課	12,000	36

8)効率的で持続可能な行財政運営		所管課	予算額	ページ
SDGs未来都市亀岡推進事業 《SDGs推進経費》	充実	SDGs創生課	2,300	37
議会活動経費 《議会活動経費》	充実	議会事務局	24,446	37
DX推進事業 《電算管理経費／情報化推進経費》	新規	情報政策課	38,365	38
マイナンバーカード交付推進事業 《戸籍住民基本台帳経費》	充実	市民課	20,689	38
ふるさと納税推進事業 《ふるさと力向上経費》	充実	SDGs創生課	2,730,954	39
特別会計		所管課	予算額	ページ
国民健康保険事業(特別会計)	継続	保険医療課	9,370,000	40
休日診療事業(特別会計)	継続	健康増進課	22,800	40
介護保険事業(特別会計)	継続	高齢福祉課	7,284,000	41
後期高齢者医療事業(特別会計)	継続	保険医療課	1,361,600	41
土地取得事業(特別会計)	継続	都市整備課	1,200	42
水道事業(特別会計)	継続	上下水道部各課	3,212,400	42
下水道事業(特別会計)	継続	上下水道部各課	5,214,100	43
市立病院事業(特別会計)	継続	市立病院	3,743,000	43



互いを認め合う、
ふれあいのまちづくり

新規

亀岡市人権条例(仮称)制定推進事業

予算額 388千円

《人権啓発推進経費》



人権施策の推進に関する基本的事項を定め、行政、市民及び事業者の責務を明確にすることで、人権尊重の意識高揚を図り、誰一人取り残されることのない人権尊重のまちづくりを一層推進するため、亀岡市人権条例(仮称)制定に向けた取組を進める。

- 亀岡市人権条例(仮称)制定委員会の設置
- 亀岡市人権条例(仮称)制定委員会の開催(年4回)



人権啓発課 Tel.0771-25-5018

新規

修学旅行における平和学習補助事業

予算額 1,600千円

《教育研究会等経費(中学校費)》



「世界連邦・非核平和都市」を宣言している本市の中学生が、修学旅行の中で、平和学習を行い、将来においても、平和を希求する行動をとる心を醸成する。

- 修学旅行における平和学習補助金



学校教育課 Tel.0771-25-6786

継 続

東部児童館改修整備事業

予算額 120,456千円

(前年度予算額 5,000千円)

《地域振興事業費》

新たな児童館を東部文化センター東側敷地へ併設し、併せて東部文化センター内部の改修を行うことにより、両施設の一体的かつ効率的な利用を促進し、東部地域における新たな子育ての拠点として、また世代を超えた地域住民の交流の拠点として両施設の更なる利活用を図る。

【事業計画】

(新設)東部児童館

計画面積 約140㎡
階 数 平屋建て
構 造 鉄骨造
計 画 室 集会室、図書室、授乳室等

(改修)東部文化センター

- ・和室の内装改修
- ・空調機械室を児童館遊戯室へ用途変更改修



人権啓発課 Tel.0771-25-5018

充 実

ジェンダー平等及び性の多様性の尊重を実現するまちづくり事業

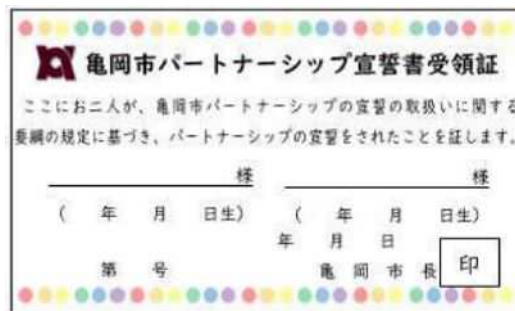
予算額 8,457千円

(前年度予算額 5,027千円)

《男女共同参画推進経費》

すべての人の人権が尊重され、その個性や能力を十分に発揮できるまち、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、ジェンダー平等及び性の多様性への理解を広め、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を進めます。

- 女性の相談室(一般相談・法律相談・フェミニストカウンセリング)の開設
- 男女共同参画推進事業「ゆう・あいフォーラム」の開催(11月実施予定)
- 「エンパワメントセミナー」(男女共同参画講座)の開催
- 「ゆう・あいセミナー」(イクボス講座・スキルアップセミナー・DV防止講座・SOGIE講座)の開催
- 「地域講座」(自治会に出向いて行う男女共同参画講座)の開催
- 男女共同参画情報紙「ゆう・あいネット」の発行(9月1日/2月15日発行)
- パートナーシップ宣誓制度の実施
- LGBTQコミュニティスペース及び個別相談会の開催【新規】
- LGBTQ+への理解を表現するシンボルマークを活用した啓発活動【新規】



人権啓発課 Tel.0771-25-5075

継 続

移住定住促進事業

予算額 41,911千円

(前年度予算額 42,802千円)

《移住・定住促進経費》

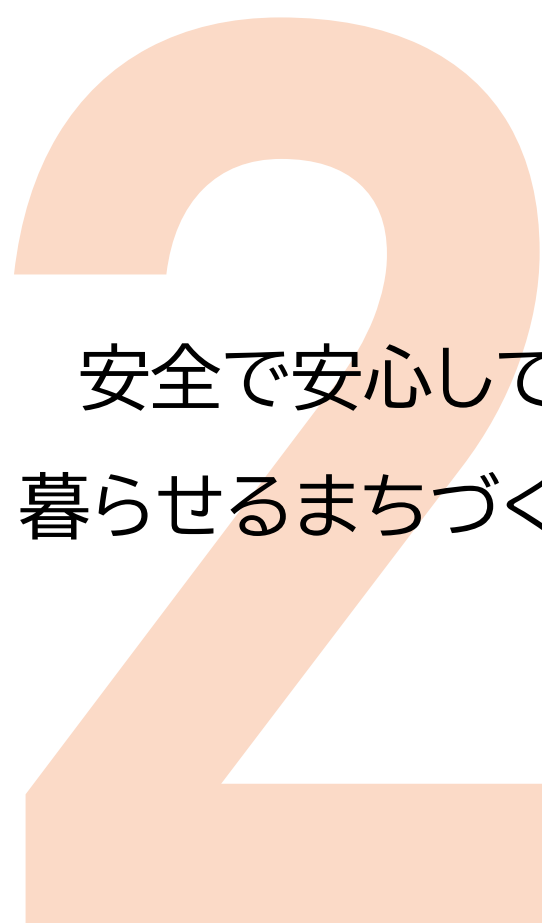


平成12年以降続く緩やかな人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を維持するために、本市への移住者の獲得及び伴走支援、若者の仕事づくり支援、定住の促進、首都圏を中心とした情報発信事業等に取り組む。

- 首都圏を中心とした情報発信
- PR動画等の制作
- 在宅ワーク等に係る各種セミナーの実施
- キャッチコピーの作成及び発信
- 移住フェアやセミナー等への出展
- 空き家・空き地バンク制度を通じた空き家利活用の促進
- 移住・定住促進施設「離れ」にのうみ運営



SDGs創生課 TEL0771-56-8520



安全で安心して
暮らせるまちづくり

継続

安全で安心して暮らせるまちづくり推進事業

予算額 2,255千円

(前年度予算額 1,959千円)

《セーフコミュニティ推進事業経費》



事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防できるというセーフコミュニティの理念のもと、行政と地域住民などの主体の協働により、事故やけがなどの外傷予防や安全向上施策を実施することによって、子どもから高齢者まで誰もが安全を実感し、安心して暮らせるまちづくりを進める。

- 重点課題(防災・交通安全・防犯対策・自殺対策・乳幼児の安全・高齢者の安全・スポーツの安全)に対する外傷予防活動等の実施
- 外傷データの収集・分析と活動効果の測定、活動の見直しによる外傷予防活動の発展・向上
- 取組成果の周知・広報による体感治安や住民満足度の向上
- セーフコミュニティ活動の国内外への情報発信
- セーフコミュニティ取組報告会等の実施



自治防災課 TEL0771-55-9560

充実

消防団員処遇改善事業(消防団出動報酬)

予算額 10,630千円

(前年度予算額 3,630千円)

《消防団経費》



地域の防災活動に従事する亀岡市消防団活動の運営を健全なものとし、亀岡市民の安全安心を確保することを目的とする。

消防団員は全国的に減少傾向が続いており、消防団員の処遇見直しが課題となっている。本市においても、条例定数の900名に対して実員数が不足している状態である。

消防団員の処遇改善のひとつとして、出動報酬の見直しをおこなうことで、消防団員の入団促進と団員数の確保を図り、地域防災力を向上させる。

- 出動報酬の見直し
 - 1 災害出動報酬(水火災等)
 - 2 各種訓練出動報酬



自治防災課 TEL0771-22-0119

継 続

消防団活動のための消防施設整備事業

予算額 11,900千円
(前年度予算額 29,239千円)

《消防施設整備事業費》



消防団活動を行うために必要な消防団車両及び消防用資機材等の整備充実を行うことで、本市における防火・防災体制の強化を図る。

- 小型動力ポンプ更新(3台)
- 小型動力ポンプ積載車更新(4台)
- 消防用ホース更新



自治防災課 TEL0771-22-0119

継 続

避難所備蓄品の充実

予算額 2,481千円
(前年度予算額 3,070千円)

《災害対策経費》



大規模災害発生後24時間に必要な生活物資を確保するため、京都府・各市町村の共同備蓄(京都府と各市町村が1/2ずつ負担)により、食糧等生活必需品等の備蓄を行う。

- 缶入りパン(1,200缶)の購入
- アルファ化米(2,016食)の購入
- おかゆ(408食)の購入
- 乾パン(408缶)の購入
- 液体ミルク(48缶)及び粉ミルク(1,860本)の購入
- 使い捨て哺乳瓶(150本)の購入
- 保存水(7年保存)(1,002本)の購入
- 災害用パック毛布(500枚)の購入
- 成人用紙おむつ(210枚)の購入
- 子供用紙おむつ(456枚)の購入
- ビスコ(200缶)の購入
- 生理用品の購入



自治防災課 TEL0771-25-5097

新規

Car Shelter野水(仮称)整備事業 (車中泊避難場所の整備)

予算額 33,425千円

《災害対策経費》



近年の豪雨や台風による被害が相次いでいる状況を背景に、ペットの同行避難やプライバシー確保など生活様式や価値観の多様化、感染症予防の観点から、自家用車の中へ避難する「車中泊避難」の増加が予想される。

車中泊避難の受け入れに関しては、エコノミー症候群やトイレの確保など、避難者の健康状態の管理が大きな課題であり、専用避難場所を整備することにより車中泊避難者を集約し、避難者の状態を把握することで、安全に車中泊避難できる環境を整備する。

実施計画

- | | |
|-------|----------------------|
| 令和4年度 | ・用地取得
・用地整備実施設計 |
| 5年度 | ・用地整備工事
・建築関係実施設計 |
| 6年度 | ・建築工事 |



自治防災課 Tel.0771-25-5097

新規

防災士養成事業

予算額 2,706千円

《災害対策経費》



民間資格である「防災士」の取得促進により、災害時における市民対応力の強化を図る。また、防災士の協働組織を設置し、防災士の地位向上及び情報共有・連携を図り、行政や自主防災組織との協働による地域防災力の向上を目指す。

- 日時 : 令和4年7月～8月(予定) ※講座は2日間開催
- 場所 : ガレリアかめおか(予定)
- 内容 : 指定研修及び試験の実施
救急救命講習(京都中部広域消防組合)
 - ・ 現在、京都府では同資格の取得率が全国的に低い状況である。そのような中、市主催で事業を行い、受講費用も負担することで、資格取得を支援する。
 - ・ 防災士の協働組織を設置し、地域での啓発活動やフォローアップ研修を行い、資格取得後も積極的な活動を支援する。



自治防災課 Tel.0771-25-5097

新規

かめおか防災キャンプ2022(仮称)の開催

予算額 1,002千円

≪災害対策経費≫



主に若年層をターゲットとし、体験型の防災教育事業を開催する。市民の防災意識の高揚を図るとともに、次世代の防災リーダー育成を図っていく。

- 日時：令和4年9月～10月(予定) ※日帰り
- 場所：七谷川野外活動センター(予定)
- 参加者：100名(予定)

- ・「体験」…救急救命講習や、避難所運営および避難の体験を行う。
- ・「制作」…段ボールベッドや簡易トイレなど、災害用物資の組み立てを行う。
- ・「学習」…災害発生の仕組みや防災活動、災害ボランティア等について、関係者を招いて学習する。



自治防災課 Tel0771-25-5097

充実

自然災害からみんなを守る 河川災害等防止対策事業

予算額 121,048千円

(前年度予算額 103,299千円)

≪排水路新設改良事業費／河川改良事業費／河川維持経費≫



災害の発生予防・拡大防止を目的として創設された緊急自然災害防止対策事業債を活用し、突発的豪雨による被害を改善するため河川の浚渫や改修工事を行い、快適な生活を支える河川づくりを行う。

- 排水路新設改良事業費
 - ・ 排水路改良工事 3ヶ所
- 河川改良事業費
 - ・ 牧田川改修事業(調査測量設計)
- 河川維持経費
 - 河川維持作業
 - ・ 河川土砂浚渫作業 4ヶ所
 - ・ 河川雑木伐採作業 2ヶ所
 - 河川維持改修工事
 - ・ 護岸等改修工事(コンクリートブロック積等) 3ヶ所



桂川・道路交通課 Tel0771-25-5074
土木管理課 Tel0771-25-5044

新規

生命のメッセージ展inかめおか(仮称)の開催

予算額 599千円

《交通安全対策経費》



2012年(平成24年)4月篠町の通学路で登校中の児童列に車が突っ込み、多くの犠牲者(胎児を含め4名)を出す事故が発生した。この悲惨な事故を風化させず、二度と交通事故を起こさせないよう平成27年から、毎年4月23日を「KAMEOKA交通事故ゼロを目指す日」として地元自治会、市、警察と連携し、交通安全活動を実施してきた。

令和4年度には、この交通事故から10年目を迎える。交通安全の重要性をさらに強く訴えるため、遺族と連携し、交通事故によって失われた尊い生命の生きた証や遺族の方々の想いを伝える「生命のメッセージ展」を開催する。

- 犠牲者一人ひとりの等身大の人型パネルと遺品である靴を「メッセンジャー」として展示。
- 生命の大切さを伝える「メッセンジャー」を通して、事故の酷さや遺族の想いを感じてもらい、危険運転などをしていない交通安全の取組を伝える。
- 開催予定場所
→ 亀岡市役所エントランスホールなど
4月中旬予定



令和3年「KAMEOKA交通事故ゼロを目指す日」における横断歩道での誘導活動(篠町)

自治防災課 TEL0771-25-6788

新規

相続相談事業

予算額 403千円

《広聴経費》

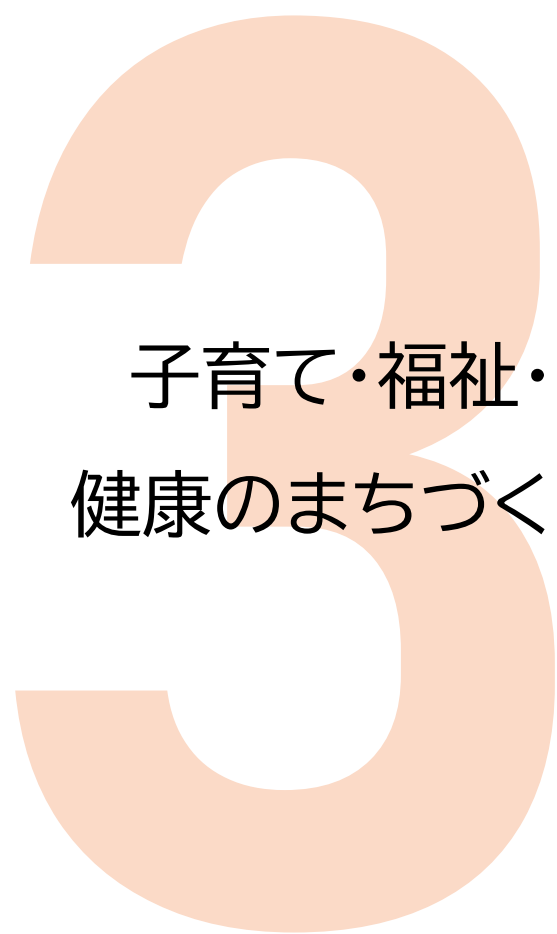


市民相談や「おくやみ窓口」の運用を通じて、市民から「相続」について、税や登記のことも含め個別に、市役所で相談できないかという要望を多く受けている。

これに応えるかたちで、令和4年度から「相続」に特化し、税理士・司法書士同時に相談できる市民対象の相談窓口を、毎月1回、予約制で新たに創設する。相談窓口の充実を図ることで、市民に寄り添う窓口を目指す。



市民課 TEL0771-25-5005



子育て・福祉・
健康のまちづくり

継 続

こども医療費助成事業

予算額 249,298千円

(前年度予算額 210,203千円)

《こども医療費助成経費》



健やかに子どもを生み育てる環境づくりの一環として、子どもの医療費を助成し、健康の保持及び増進を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。

出生から中学校卒業までの子どもは、入院・通院にかかる医療費(公的医療保険の自己負担額の一部)を1箇月1医療機関200円で受診することができる。

	0歳～2歳	3歳～小学校就学前	小学校卒業まで	中学校卒業まで
入 院	1箇月1医療機関 200円【府制度】			
通 院	1箇月1医療機関 200円【府制度】	1箇月1医療機関 200円【市制度】		
		1箇月の医療費自己負担額を合算して、 1,500円を超えた額を助成【府制度】		

子育て支援課 TEL0771-25-5027

充 実

こども宅食事業 ～こどもの地域見守り強化事業～

予算額 39,789千円

(前年度予算額 38,892千円)

《要保護児童対策経費》



令和3年度から、子どもの生活環境が変化していることを踏まえ、こども宅食事業を開始した。特に見守りが必要な子どもの状況を継続的に把握し、子どもの健全な成長を支援している。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度も引き続き子どもの見守りを強化する。

- 食品等の宅配を通じて、子どもの状況等の見守りを事業者等に委託して実施



子育て支援課 TEL0771-25-5138

新規

臨時特別出産祝金支給事業 ～コロナ禍の出産・子育てを応援～

予算額 56,920千円

《新生児特別定額給付金事業経費》



新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、不安を抱えながら妊娠、出産、育児を行う子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援するため、臨時特別出産祝金を支給する。

支給対象者： 次の①と②の両方の条件を満たす人

- ① 令和4年4月1日から令和5年4月1日までに出生した支給対象児を監護し、生計を同じくしている人
- ② 支給対象児の出生日から出産祝金の申請日まで、引き続き本市の住民基本台帳に記載されている人

支給対象児： 次の①と②の両方の条件を満たす児童

- ① 令和4年4月1日から令和5年4月1日までに出生した児童
- ② 出生時に本市の住民基本台帳に記載されている児童

支給額： 支給対象児一人につき10万円(1回限り)



子育て支援課 Tel.0771-25-5027

新規

こども木育ひろば事業 ～「木」とともに豊かに育つ子どもたち～

予算額 112,728千円

《こどものあそびば整備等事業経費》



未来を生きる子どもたちが豊かに育つ環境づくりの一環として「こども木育ひろば事業」を実施する。

サンガスタジアム内に「木」とともに豊かに育つ子どもたちを象徴するエリアを創出し、子どもたちが木のぬくもりを感じながら遊ぶ場、子育て世代が集い癒せる木育空間を作り、子育てと子育ての事業を展開する。

<事業概要>

- 場所 サンガスタジアム by KYOCERA
- 整備 令和4年度
- 事業開始 令和5年度(予定)



※【イメージ図】KAKAMIGAHAR PARK BRIDGE提供
©Kusunose Tomoyuki

子育て支援課 Tel.0771-25-5126

新規

産婦健康診査などの導入

予算額 11,714千円

《母子保健事業経費》



健やかに産み育てる環境づくりの一環として、産婦健康診査の実施及び3歳児健診視力検査での屈折検査の活用により、健康診査事業を充実する。

産婦健康診査費用を助成することにより、産後2週間から1カ月の母子に対する支援を強化し、産後うつや新生児への虐待防止等を図る。

屈折検査により、回復が期待できる弱視等の視覚異常の発見、治療につながる。

- 産婦健康診査の助成 1人1回 5,000円以内(2回まで)
- 3歳児健康診査用屈折検査機器の購入 2台



子育て支援課 Tel.0771-24-5016

充実

子どもたちの豊かな心とからだを育む 保育事業

予算額 81,353千円

(前年度予算額 151,584千円)

《公立保育所等施設運営経費》



公立保育所・こども園における児童の安全を確保するとともに、亀岡型自然保育の実施や有機米・有機野菜を用いた給食を提供することにより、児童の豊かな心とからだを育む保育を実施する。

- 公立保育所・認定こども園の運営
- 保育所等施設の防犯カメラの設置
- 保育所等の園庭遊具の修繕・更新
- 有機米・有機野菜を用いたかめまる給食の提供
- 亀岡型自然保育の推進
(森の自然こども園東本梅・本梅こども園・別院保育所・保津保育所)



保育課 Tel.0771-25-5028

充 実

放課後児童健全育成事業 (放課後児童会)

予算額 193,990千円
(前年度予算額 190,962千円)

《放課後児童対策経費》



亀岡市立小学校等に在学する児童で、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後児童会を開設し、児童の健全な育成を図るとともに、子育て支援策の一環として保護者が安心して就労できる環境を提供する。

- 小学校の空き教室等を活用し、市内18校32教室で放課後児童会を開設
- 放課後児童会で入会児童が安心して過ごすことが出来る環境づくりのため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を強化
- 児童の良好な保育環境確保のため、放課後児童会開設教室を増設



社会教育課 Tel.0771-25-5199

新 規

(仮称)いきがい健幸ポイント制度事業

予算額 10,000千円

《保険者機能強化推進事業経費》



高齢者が地域サロンの運営補助等のボランティアを行った時に、ポイントを付与し換金等を行うシステムをICT技術の活用により新たに構築。

高齢者の社会参加活動を活性化させ、住み慣れた地域で健康で自立した日常生活が継続できることを目指す。

【令和4年度実施内容】

- ポイント制度の先進事例調査や制度内容の検討
- ボランティア受入団体との調整・協議
- ポイント付与システム(スマートフォンアプリケーションを予定)を開発



高齢福祉課 Tel.0771-25-5127

新規

重度障がい者等就労支援特別事業

予算額 1,090千円

《地域生活支援事業経費》



企業等が重度障がい者等を雇用するにあたり、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)が実施する障害者雇用納付金制度に基づく助成金を活用し、なお当該重度障がい者等の雇用継続に支障が残る場合に必要となる支援を行う。

※当事業を利用するためには、当該制度を活用していることが前提。

支援内容

- 喀痰吸引や姿勢の調整、安全確保のための見守りその他雇用継続に必要な支援
- 4ヶ月目以降の通勤支援等
- 重度障がい者等が自営業者等として働く場合において必要となる通勤や職場等における支援



障がい福祉課 Tel.0771-25-5189

新規

福祉都市宣言40周年記念事業

予算額 200千円

《福祉都市推進経費》



健康で文化的な福祉社会を目指し、昭和57年3月29日に亀岡市は「福祉都市」を宣言。同年11月には福祉の拠点として亀岡市総合福祉センターが設立され、今日に至るまで市民とともに歩んで来た。

令和4年3月に宣言の日から40年を迎えるにあたり、当該センターで行われる「福祉センターまつり」とタイアップし、記念事業を実施。

- 実施時期(予定)
令和4年11月
- 事業内容
 - ・映画上映等
 - ・リレーメッセージ

2022年亀岡市は
福祉都市宣言40周年



「亀岡市観光マスコットキャラクター 明智かめまる」

障がい福祉課 Tel.0771-25-5189

充実

ずっと住みたいまちを目指す「重層的支援体制整備事業」への移行準備事業

予算額 6,514千円
(前年度予算額 3,564千円)

《重層的支援体制整備事業経費》



複雑・複合的な課題を抱える人が増加するなか、高齢、障がい、子ども、生活困窮等の各福祉分野の機関が連携して支援する体制を構築することにより、課題を抱える人に寄り添った長期的、継続的な支援を行う。

重層的支援体制整備事業・・・「断らない相談支援」、「課題を抱える人の社会参加支援」、「支えあいや交流、活躍の場を生み出すための地域づくりに向けた支援」を一体的に行う。

- 「福祉なんでも相談窓口」の相談支援体制の充実強化
- 重層的支援体制の構築に向けた連携会議等の実施
- 自ら支援につながる人が難しい人へのアウトリーチ等を通じた継続的な支援
- 社会とのつながりづくりに向けた居場所づくり等の参加支援



地域福祉課 TEL0771-25-5029

充実

市民の健康を守る予防接種事業

予算額 550,007千円
(前年度予算額 599,672千円)

《予防接種経費》



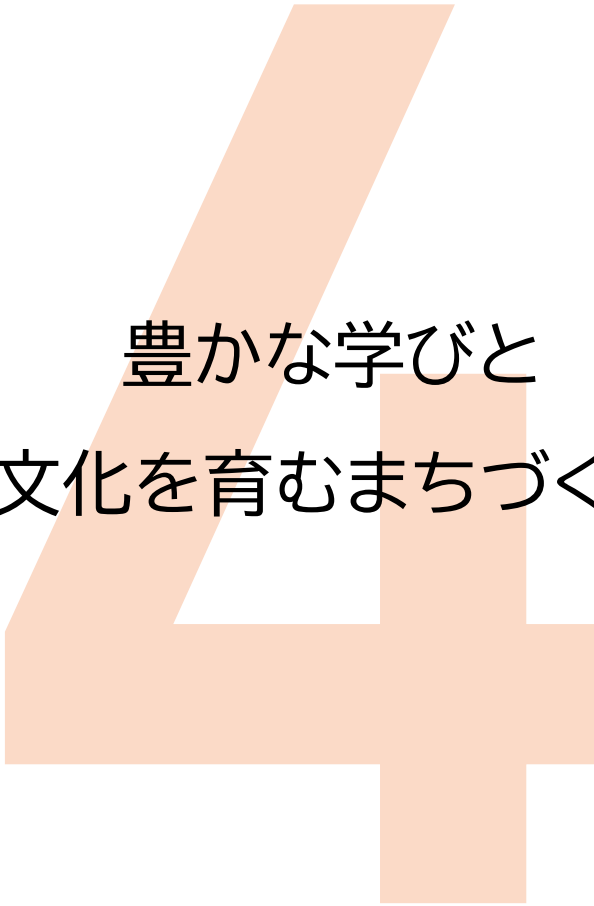
予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防し、市民の健康増進に資するため、各種予防接種を実施する。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの追加接種を実施するとともに、HPV(ヒトパピローマウイルス感染症)ワクチンの接種勧奨を再開する。

また、令和元年度から3カ年で実施してきた、風しんの追加的対策について、更に3年間延長し実施する。

- 新型コロナウイルスワクチン追加接種の実施
 - ・18歳以上の3回目接種
 - ・5～11歳の1回目、2回目接種
- HPV(ヒトパピローマウイルス感染症)ワクチン接種
積極的勧奨の再開
- 風しんの追加的対策の実施期間延長



健康増進課 TEL0771-25-5004



豊かな学びと
文化を育むまちづくり

新規

学校規模適正化事業(別院中学校ブロック)

予算額 20,304千円

《事務局事務経費／学校運営経費(中学校費)／
学校施設管理経費(中学校費)／通学安全対策経費(中学校費)》



令和5年4月に別院中学校を南桑中学校へ編入することについて、双方の学校間との連携を円滑に図り、子どもたちが安全安心な教育環境のもと教育を受けることができるように取組を進める。

- 児童生徒や保護者の不安軽減のためにスクールカウンセラーの配置
- 児童生徒の不安解消を図るため学校間で交流事業を実施
- 生徒の保護者の負担軽減のために学用品の支給
- 通学における負担軽減を図るためスクールバス(3台)を購入
- スクールバス駐車場の整備(南桑中学校)
- 別院中学校の物品等移転の実施
- 学校区変更に係るシステム改修



教育総務課 TEL0771-25-5052
学校教育課 TEL0771-25-5053

新規

学校司書配置事業

予算額 5,035千円

《事務局事務経費》



学校図書館に司書を配置し、各司書が市内の全小学校を巡回して、本に関する助言・整備等を行い、子どもたちの読書への興味を高めるとともに、授業支援等を行い、子どもたちの「学び」を支える。

- 学校司書の配置
(4人体制：既配置1名、新規3名)
 - ▷ 学校図書館の環境や資料の整備
 - ▷ 児童生徒への読書支援
 - ▷ 情報の紹介、資料リストの作成等による授業支援



学校教育課 TEL0771-25-6786

充実

よりよい教育環境をめざす
学校施設整備の推進

予算額 572,064千円
(前年度予算額 374,197千円)

《学校建設事業費(小学校費)》



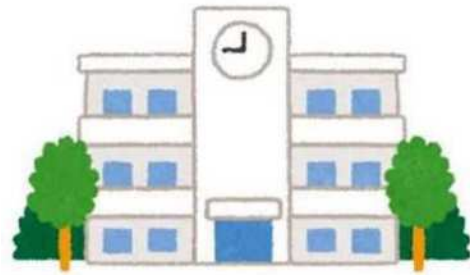
市立学校施設において、長寿命化計画に基づき、長寿命化改良工事実施設計や校舎屋上防水工事実施設計、また校舎大規模改修工事やトイレ改修工事を推進し、児童にとって安全安心でよりよい教育環境を維持・確保する。

【設計業務委託】

- 城西小学校長寿命化改良工事実施設計業務委託
- 蔦田野小学校・本梅小学校校舎屋上防水工事実施設計業務委託

【工事請負】

- 大井小学校校舎大規模改修工事(Ⅱ期)
- 詳徳小学校校舎大規模改修工事(Ⅱ期)
- 西別院小学校屋内運動場トイレ改修工事
- 吉川小学校校舎トイレ改修工事



教育総務課 TEL0771-25-6766

充実

外国語教育をはじめとする
教育環境充実事業

予算額 35,417千円
(前年度予算額 32,922千円)

《外国語指導助手設置経費／学校運営経費(小・中学校費)／
専科指導推進事業経費／教育研究会等経費(中学校費)》



外国語指導助手(ALT)の派遣やデジタル教材の効果的な活用により、本市の児童生徒への外国語教育の質的向上及び教育環境の充実を図る。

- 外国語指導助手(ALT)の各小・中・義務教育学校への派遣
- 外国語教育支援員の小学校への配置
- 実用英語技能検定料補助金(中学校3年生・義務教育学校9年生)
- 音楽科専科講師の各小・義務教育学校への配置
- 指導者用デジタル教科書の各小・中・義務教育学校への導入【充実】



学校教育課 TEL0771-25-6786

新規

学びの応援サポーター配置事業

予算額 4,033千円

《学びを支える教育推進経費(小学校費)》



特別支援学級に、「学びの応援サポーター」を配置し、支援を要する児童の学校における学習活動や日常生活の支援を行い、子どもたちの「学び」へとつなげる。

● 「学びの応援サポーター」の配置

- ▷ 知的障がいや身体障がい等の児童に対する学習支援
- ▷ 児童の心理的ストレスの緩和に関すること
- ▷ 基本的な生活習慣確立のための日常生活上の支援
- ▷ 学習活動、教室間移動における支援
- ▷ 児童の健康、安全確保に関すること
- ▷ 運動会、学習発表会等の学校行事における支援
- ▷ 児童みんなが障がいについて理解するための啓発



学校教育課 TEL0771-25-6786

新規

有機米給食提供事業

予算額 2,075千円

《給食センター管理経費》



学校給食で提供する米飯給食において、有機米米飯を提供することを通して、児童の環境や農産物、食への関心を高めるとともに、食育を推進し、持続可能かつ環境にやさしい地域づくりへの参画及び行動につなげる。



- モデル校において、学校給食で自校炊飯による有機米米飯を提供



学校給食センター TEL0771-24-3833

充 実

人型ロボット活用事業

予算額 5,519千円

(前年度予算額 581千円)

《みらい教育リサーチセンター事業経費》



「何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶのか」を主眼に、ともに考え学び、新しい発見や豊かな発想が生まれるような授業内容等の充実を図るため、全ての小学校・義務教育学校児童及び適応指導教室児童生徒において、外国語教育や環境教育、児童間のコミュニケーションツール等で人型ロボットを活用する。

- 英語でのコミュニケーションを通して「話す」「聞く」能力を育成
- 自然環境等を紹介し、環境を考え、大切にすることを育成
- 登下校や休み時間等のあいさつを通して、児童間のコミュニケーションの活性化
- 児童のタブレット等を活用した情報活用能力を育成



みらい教育リサーチセンター
Tel.0771-26-3916

新 規

図書館中央館リニューアル推進経費

予算額 8,000千円

《図書館管理運営経費》



市民の生涯学習と文化の拠点となる図書館中央館の利便性と魅力を高めるため、中央館の来館者ゾーンについて、先進図書館に係る専門的知見を取り入れながら、リニューアルに向けての準備を推進する。

- 現状と課題の整理、先進事例の調査
- リニューアルコンセプトと機能の検討
- 機能実現のための備品等の精査
- レイアウトイメージ、パースの作成
- 設計業務等
- R5 完成(予定)



図書館 Tel.0771-24-4710

継続

ガレリアかめおか長寿命化対策事業

予算額 34,924千円
(前年度予算額 553,600千円)

《生涯学習推進経費》



生涯学習活動の拠点施設であるガレリアかめおかの長寿命化を図り、安全・安心な学習活動の場の提供を行うことにより、生涯学習のまちづくりを推進する。



- ガレリアかめおか長寿命化改修工事設計業務委託
 - 不良設備の更新に係る改修設計
 - 高圧受電設備・照明総合制御盤ほか
 - 大広間大規模改修設計
 - 建築・電気設備・機械設備

市民力推進課 Tel0771-25-5002

継続

二十歳式典実施事業

予算額 2,145千円
(前年度予算額 1,561千円)

《二十歳式典経費》



民法改正により、令和4年4月1日から成人年齢が20歳から18歳に引き下げとなることから、新たな式典の名称及び内容を検討し、引き続き20歳を対象に式典を行う。式典は、実行委員が自ら企画・運営することで、自ら生き抜く力を持った成人の育成を図り、青少年健全育成につなげる。

- 実行委員会の設置

市内8中学校長からの推薦や公募により実行委員会を設置し、社会教育課の指導のもと、式典の企画立案及び実質的運営を行う。
- 式典の開催

令和4年度も引き続き20歳を対象に式典を行う。



社会教育課 Tel0771-25-5054

新規

京都サンガF.C.と育む シビックプライド醸成プロジェクト

予算額 3,000千円

《生涯スポーツ振興経費》



J1リーグ昇格という悲願達成を受け、更なる注目を集める京都サンガF.C.とともにホームスタジアムのあるまちとして、「わがまちサンガ応援隊」を中心に市民の気運を高め、まちの活性化に繋げ、更にはシビックプライドの醸成を図る。

- サンガ応援のぼり、バナー等作成
- 市内小学生サンガスタジアムツアーの実施
- スタジアム来場者への「かめおかおもてなし」メッセージ放映
- 混雑統計調査の実施
- ホームタウン亀岡応援デーの実施 等



©KYOTO.P.S.

生涯スポーツ課 TEL0771-25-5055

充実

亀岡運動公園競技場改修事業 (三種公認対応)

予算額 265,113千円
(前年度予算額 5,971千円)

《体育施設管理運営経費》



当競技場は、日本陸上競技連盟第三種公認陸上競技場として、各種競技大会(記録会)等に活用されている。第三種公認競技場の全天候コースを走り、公式記録としての記録への挑戦が大きな目標となり、競技力向上にも寄与している。

令和4年度に更新時期を迎えるため、認定に必要な改修及び検定を受検する。

【第三種公認更新するための改修箇所等】

- ウレタン部分の全面補修、8レーン化
- 砲丸投・円盤投サークル、やり投げピット補修
- 走幅跳ピット及び砂場補修、縁石の補修
- 老朽化に伴う、新規格の競技用備品の購入



生涯スポーツ課 TEL0771-25-5055

新規

安全で快適な月読橋球技場トイレ整備事業

予算額 68,000千円

《体育施設管理運営経費》



人々が安全で快適にスポーツに取り組める環境づくりを目指し、順次、体育施設の改善を進めている本市において、月読橋球技場の衛生設備を新設整備し、バリアフリーや水洗化による衛生面向上の観点も含めた体育施設の環境整備を行う。



【月読橋球技場トイレ新設】

- 計画面積 約45㎡
- 設計及び建築工事費 等

生涯スポーツ課 TEL0771-25-5055

継続

地球環境子ども村事業

予算額 3,167千円
(前年度予算額 3,061千円)

《地球環境子ども村推進経費》



亀岡の豊かな自然の中で、人間と生き物が織り成す共生文化について学び、地域の環境問題を身近に感じてもらうことを目的として、子ども・大人を問わず参加できる体験型学習を実施する。

亀岡生き物大学

- 亀岡生き物大学開校式【水辺の教室】(7月)
- 昆虫教室(7月)
- 星空教室(8月) など

亀岡生き物大学特別講座

- 沢登り教室(7月)
- きのこと教室(9月)
- オリオン座流星群を観よう!(10月) など



市民力推進課 TEL0771-26-6100

継続

文化財保存活用地域計画作成事業

予算額 8,629千円

(前年度予算額 4,381千円)

≪文化財保存活用地域計画作成事業≫



亀岡市内に所在する建造物や歴史資料、史跡、民俗行事などの文化財について、調査や自治会及び地域の各団体との協議を通じて、様々な文化財や地元行事などを把握したうえで、学識経験者や観光部局・まちづくり部局、亀岡市内の各種団体から構成される協議会を開催し、一体的な保存および活用を進めるための計画策定を目指す。



- 亀岡市文化財保存活用地域計画策定(令和4年12月完成予定)
- 地域の文化財の調査・把握する取組
- 文化財の保存及び活用する取組

歴史文化財課 Tel0771-25-5068

継続

「かめおか霧の芸術祭」関連事業

予算額 21,000千円

(前年度予算額 21,000千円)

≪文化振興経費≫



環境や農業、商工観光などの各種政策に文化芸術の力を加えることで、従来の行政には無かった企画やアイデアを生み出すとともに、既存の取組も改革改善することにより、より一層魅力あるまちづくりを推進する。

- 芸術家等によるワークショップや展覧会、アートマルシェなど「かめおか霧の芸術祭」関連企画を年間を通じて実施する。
- SDGs交流拠点「開かれたアトリエ」も活用しながら、かめおか霧の芸術祭をハブとして、農業や環境、商工観光等の各分野と連携して市政及びSDGsの推進を行い、地域課題の解決及び、まちの魅力発信を行う。



開かれたアトリエ展覧会企画「農と林」 滞在制作の様子

文化国際課 Tel0771-55-9655



地球にやさしい
環境先進都市づくり

充実

世界に誇れる環境先進都市推進事業

予算額 120,365千円
(前年度予算額 28,702千円)

《環境先進都市推進事業経費》

かめおかプラスチックごみゼロ宣言の目標達成に向けて、次の環境施策の展開による持続可能なエコシステムの創出と地域ブランドの確立を目指し、地域経済の活性化と市民の郷土愛(シビックプライド)の醸成に繋げることで、将来にわたって安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現を目指す。

- プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の運用
- 環境先進都市に向けた取組の啓発事業(リバーフレンドリー・レストラン・給水スポットの普及拡大、市内小・中・義務教育学校での啓発映画の上映【新規】、2022NEW環境展への出展【新規】、冊子の作成等)
- 市内河川漂着ごみ状況調査
- 環境政策情報発信・交流拠点施設整備事業
(場所:保津町下中島59番1 工期:R4~R5)
- 代替袋の個別購入事業補助金(補助率:1/3 上限:10円/枚)
- リユース食器利用促進補助金
- IoTゴミ箱を用いた企業連携事業【新規】



環境政策課 Tel.0771-25-5024

充実

地球にやさしい環境先進都市かめおかの環境像を描く事業

予算額 18,612千円
(前年度予算額 8,322千円)

《環境にやさしいまちづくり推進経費》

令和4年度以降の本市の環境の保全及び創造に関する基本的な計画である「第3次亀岡市環境基本計画」に基づき、環境政策を総合的・分野横断的に展開することで、世界に誇れる持続可能な環境先進都市の実現を目指す。また、「かめおか脱炭素宣言」による脱炭素社会の実現に向け、市内のCO2排出量実質ゼロを目指し、地球にやさしいまちづくりを推進する。

- 亀岡市環境審議会開催
- 亀岡市環境基本計画推進会議開催
- 再生可能エネルギー導入戦略策定業務【新規】
- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定業務【新規】
- 亀岡市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業助成



環境政策課 Tel.0771-25-5023

充実

清潔で快適なまちづくり推進事業

予算額 17,265千円
(前年度予算額 23,382千円)

《環境保全対策経費》



ポイ捨てや飼い犬等のフンの放置を無くし、良好な生活環境を確保するとともに、清潔で快適なまちづくりを進める。

- 亀岡市ポイ捨て等禁止条例に基づく事業経費
(ポイ捨て禁止指導員報酬・手当)
- 喫煙ブースの維持管理に係る経費
(保険、機器点検、清掃、電気代)
- エコウォーカー活動に係る経費 **【充実】**
(エコウォーカーへの報償品費、ボランティア保険料、エコウォーカーキッズ活動備品)
- 河川水質検査及び自動車騒音測定業務委託料
- 不法投棄パトロール



環境政策課 TEL0771-25-5024

充実

有機農業推進事業

予算額 7,074千円
(前年度予算額 1,550千円)

《有機農業推進事業経費》



亀岡産野菜の高付加価値化による農業の収益性の向上を図るとともに、環境先進都市の実現に向け農業由来の環境負荷の軽減を進めるため、有機農業を推進する。

- 有機JAS認証取得支援補助金(1/2)
- 土壌診断補助金(1/2)
- 安全・安心のエコ農業推進助成金(35/100)
- ※亀岡市有機農業推進協議会(仮)を設立し、協議会を通じた有機農業推進の実施(事務局:亀岡市)
- 有機農業推進実施計画の策定
- 市立小学校・保育所・こども園での有機米等給食試行実施
- 生産者向け講習会の開催
- 有機農産物の販売強化



農林振興課 TEL0771-25-5036

充実

保津川を通して学ぶ、環境に対する心を育むふるさと体験事業

予算額 10,840千円
(前年度予算額 3,315千円)

《ふるさと学習推進経費(小・中学校費)》



保津川や保津川下り等ふるさとの歴史や文化を学ぶとともに、乗船等体験を通じて、保津川のプラスチックごみや地域のポイ捨て等の課題を認識し、自ら考え、環境問題に取り組むことができるような心を育む。

- 亀岡への郷土愛や環境に対する心を育むエコラフティング事業(小・義務教育学校4年生)
- 保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業(中学校1・2年生及び義務教育学校7・8年生)
- 社会科副読本『わたしたちのまち亀岡』作成



学校教育課 TEL0771-25-6786

充実

亀岡市ゼロエミッション計画推進事業

予算額 123,297千円
(前年度予算額 105,382千円)

《ごみ減量・資源化等推進事業経費》



資源循環型社会の形成に向け、廃棄物処理の基本的な事項を定めた「亀岡市ゼロエミッション計画」の改定に取り組むとともに、使用済みペットボトルをペットボトルとして再利用(水平リサイクル)する事業など、新たな取組を通じて、更なるごみの減量化・有効資源化の推進を図る。

- 亀岡市ごみ処理基本計画策定支援業務 **【新規】**
- ペットボトル中間処理業務 **【新規】**
- 木質系粗大ごみ資源化業務 **【新規】**
- ペットボトル分別収集業務
- プラスチック製容器包装中間処理業務
- 埋立てごみ中間処理業務
- 使用済小型家電収集運搬業務
- ごみ減量・資源化推進事業(生ごみ堆肥化容器・処理機)補助金
- 資源ごみ集団回収報奨金



環境クリーン推進課 TEL0771-27-2120

充実

楽しく親しみやすい公園整備事業

予算額 405,771千円
(前年度予算額 172,430千円)

《公園緑地管理経費／公園緑地整備事業費／公園緑地整備事業費(単独)》



老朽化が進む亀岡運動公園の競技場等の改修を計画的に進め、安全安心で市民に親しまれる公園の環境整備を図る。

開発行為により設置された公園について自治会等の行う公園整備事業に要する経費に対し補助金を交付することにより、住民の公園利用促進と危険防止を図り、安全安心なまちづくりに努める。

- ・ 亀岡運動公園競技場トイレ・更衣室等改修工事
- ・ 亀岡運動公園競技場芝生改修設計業務
- ・ 亀岡運動公園競技場芝生改修工事
- ・ 亀岡運動公園長寿命化対策整備工事
- ・ 都市公園等管理補助業務(緊急雇用)
- ・ 保津川水辺公園管理業務
- ・ 亀岡市開発公園整備事業補助金



都市整備課 TEL0771-25-5071

継続

「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト

予算額 5,355千円
(前年度予算額 6,405千円)

《緑花推進経費》

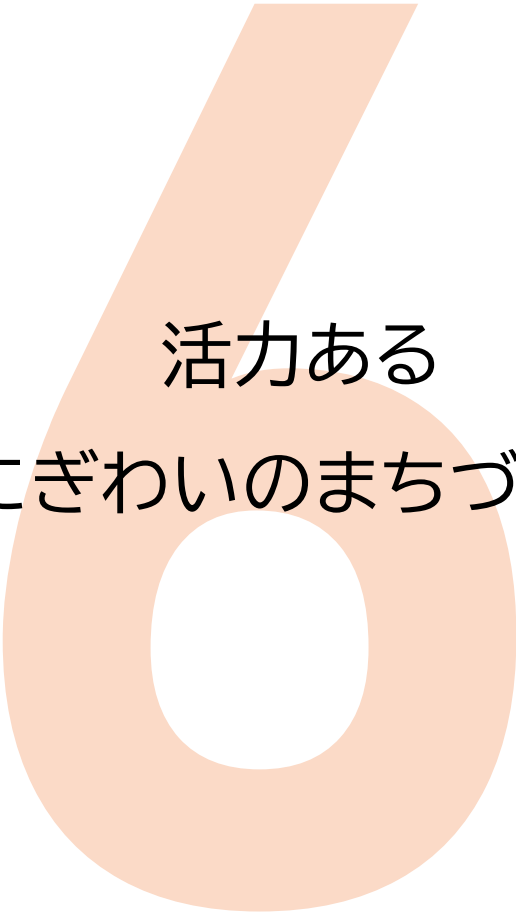


市の豊かな自然や生物多様性、地域に残る文化・歴史などの魅力ある地域資源を埋もれさせることなく、亀岡の名所づくりや原風景などの景観保全を進めるとともに、快適で潤いのある生活環境や美しい景観を創出し、住む人が誇れるまちづくりを促進する。

- ウェルカムガーデン維持管理
- 花と緑のまちづくり事業
- かめおか桜守事業
- わがまちの花づくり事業
- オープンガーデンかめおか事業



都市整備課 TEL0771-25-5071



活力ある
にぎわいのまちづくり

継続

サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業

予算額 35,697千円
(前年度予算額 35,697千円)

《商工業振興対策経費》



亀岡市域に先進的なビジネスモデルを取り入れることにより人口減少等の課題解決を図るため、「サンガスタジアム by KYOCERA」を活用し実証実験を行うベンチャー企業等を支援する。

サンガスタジアムを実証フィールドとして開放し、5Gなどの最先端設備を活用して、商業・投資・イノベーションが活発な都市を目指す。

- フィールド実証等支援金の交付(R3:7件)
- 亀岡市及び事務局による伴走支援による事業者のサポート



商工観光課 Tel.0771-25-5033

新規

「オープンイノベーションセンター・亀岡」整備運営事業

予算額 220,000千円

《商工業振興対策経費》



亀岡市、京都先端科学大学、亀岡商工会議所との産学公連携事業として実施する京都先端科学大学亀岡キャンパスを核とした「オープンイノベーションセンター・亀岡」整備・運営事業に対し補助を行い、第5次総合計画に掲げる「次代をリードする新産業を創出するまち」の推進を図る。

「オープンイノベーションセンター・亀岡」整備・運営事業の概要

●整備事業

亀岡キャンパス内未利用校舎・未利用地・既存施設を活用した「オープンイノベーションセンター・亀岡」施設整備
(事務所、レンタルラボ、セミナールーム、各種試験・研究施設など)

●運営事業

オープンイノベーションセンター実施予定事業

- 1) 技術相談・指導事業
- 2) 人材育成事業(例:EV整備講座、ドローン操縦講座、DX講座など)
- 3) 研究開発支援事業(例:レンタルラボ、各種試験施設貸出、共同研究の推進など)
- 4) 産業技術普及・啓発事業
- 5) 企業等支援プラットフォーム事業
- 6) 企業立地促進事業



商工観光課 Tel.0771-25-5033

継 続

「川の駅・亀岡水辺公園」運営推進事業

予算額 5,916千円
(前年度予算額 26,000千円)

≪観光推進経費≫



令和3年度に設置条例を制定、令和4年4月1日から条例施行となる川の駅・亀岡水辺公園において、指定管理者による民間ノウハウを活用した魅力溢れる事業運営を図る。

桂川舟運歴史・文化の展示、保津川及び河川敷をフィールドとした水辺アクティビティ、アウトドア体験、環境学習など多様な施設活用により、新たな観光拠点として、地域のにぎわい創出を目指す。



- 指定管理業務委託料 5,000千円
- オープニングイベント経費 ほか



商工観光課 TEL0771-25-5034

新 規

デジタルマップ発信支援経費

予算額 2,000千円

≪観光推進経費≫



京都サンガF.C.がJ1に昇格し、約20試合のホームゲームがサンガスタジアム by KYOCERAで開催される予定となっている。これにより、府内外より、これまで以上にサポーターが亀岡の地を訪れることが想定され、これら観戦者の市内滞在時間延長と消費額の増加を図ることを目的に、飲食ほか宿泊に関わる情報をデジタルマップに一元化し発信していくため、亀岡市観光協会に補助金を交付する。

- 京都サンガF.C. 2022 シーズン ホームゲーム(予定)
 - Jリーグ 17試合
 - ルヴァンカップ 3試合



商工観光課 TEL0771-25-5034

新規

主食用水稲生産維持緊急支援事業

予算額 56,549千円

《特産品等振興経費》



新型コロナウイルス感染症の拡大による、令和3年産米の市場価格や販路減少の影響を受けた主食用水稲を生産する農業者に対し、生産意欲の維持と持続的な地域農業の発展を図ることを目的に、亀岡地域農業再生協議会を通じて緊急支援金を交付する。

- 支援金額：5,000円/10アール
- 交付要件：水稲生産実施計画書兼営農計画書が亀岡市に属していること
- 対象件数：2,017件
- 対象面積：令和3年産主食用水稲作付面積111,960アール



農林振興課 Tel.0771-25-5035

新規

農産物直売所整備支援事業

予算額 30,493千円

《食農ブランド事業経費》



農業基盤の強化を図るため実施されている、国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」内の藤田野町佐伯において整備が行われる農産物直売施設について、地域の農産物のPR・販売強化につながり、農業者の所得安定・生産意欲の向上につながることから、整備費用への支援を行う。

- 整備内容 農産物直売所
木造平屋 181.43㎡
(内容:直売店舗、加工室、事務室等)
敷地面積 1,356㎡
- 支援内容：農山漁村振興交付金(本体工事等の1/2)
農業振興助成金(1/2以内・上限12,000千円)



農林振興課 Tel.0771-25-5036

継続

地域担い手応援事業

予算額 10,000千円
(前年度予算額 10,000千円)

《地域営農担い手条件整備事業経費》



地域の中小個人農業者の農業機械の導入等を支援することにより、集落営農組織と協力体制を築くことができる担い手の確保・育成を推進し、地域農業の継続と発展を図る。

一定の基準を満たし、地域の中核的担い手として認められた認定農業者等が行う農業機械等の導入を支援する。



- 助成対象 : 農業用機械・農業用パイプ(鉄骨)ハウス
- 補助率 : 1/2以内
- 補助上限 : 150万円

農林振興課 Tel.0771-25-5036

新規

ウッズスタート事業

予算額 7,982千円

《森林活用推進事業経費》



昨年7月10日のウッズスタート宣言に基づき、子どもたちが木のぬくもりを感じながら楽しく遊べる機会を創出し、地元産木材の活用を促進する。

① 誕生祝品贈呈事業

市内の新生児を対象に、市内の木工作家を作るおもちゃなどの木作品をプレゼントする。

【対象者】令和4年4月1日以降に出生した市内に住民票を置く新生児

② 木育キャラバン

木製のおもちゃで遊ぶ「木育キャラバン」を、開催する。

【開催時期】夏以降の2日間(予定)



農林振興課 Tel.0771-25-5036

充 実

森林活用推進事業(新たな森林管理制度)

予算額 9,000千円
(前年度予算額 8,000千円)

≪森林活用推進事業経費≫



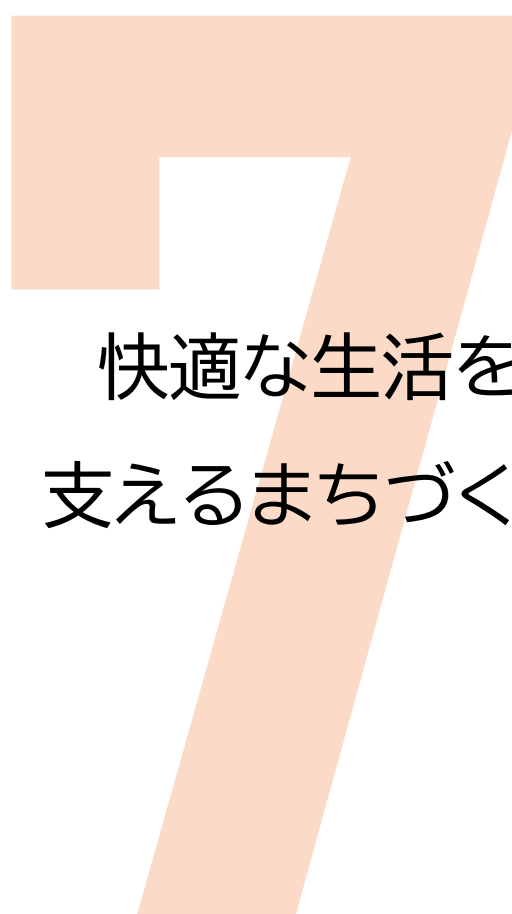
市内の山林所有者の今後の経営や管理の意向確認を行い、亀岡市が経営管理権を取得した森林の集積計画を定め、林業生産活動の継続を目指す。

亀岡市から森林所有者に、所有する森林の今後の経営管理について意向確認を行い、森林経営管理権集積計画業務委託を実施する。

- 曾我部町寺(約33ha)
- 本梅町井手・東加舎(約27ha)
- 千代川町北ノ庄(約20ha)



農林振興課 Tel0771-25-5094



快適な生活を
支えるまちづくり

継 続

安全・安心で快適な道づくり事業

予算額 427,087千円
(前年度予算額 773,050千円)

《道路新設改良事業費／街路事業費》



誰もが安全・快適に行き交うにぎわいとやさしさのまちづくりを支える道路網の計画的かつ効果的な整備を推進するとともに、地域課題への対応や歩行者の視点に立った道路整備を図る。

- 道路新設改良事業
 - 幹線道路網・生活道路整備
 - 【継続】池尻宇津根線、外9路線
 - 【新規】篠ランプ9号線、宮ノ前1号線、東垣内上福井線(仮称)、クボラ岡根線(仮称)
 - 歩道整備及び交通安全対策
 - 【継続】湯ノ花温泉線、外6路線
 - 【新規】春日部南条線、平松中ノ道線、河原町国道線、余部並河線
 - 辺地対策 【継続】湯谷区道線(第2工区)
 - 【新規】余野瀬線、鎌倉線



- 街路事業
 - 【継続】(都)保津新国道線(府道亀岡園部線)

桂川・道路交通課 TEL0771-25-5074
土木管理課 TEL0771-25-5044

新 規

魅力ある空間づくり事業

予算額 30,000千円

《街路灯管理経費》



亀岡駅北は、サンガスタジアム by KYOCERAがオープンしたことや、かめきたサンガ広場等が整備されたことで、亀岡市のまちづくりの核となっている。京都サンガF.C.のJ1昇格で更なる賑わい創出が期待されるなか、保津橋イルミネーションを復活させることにより、亀岡駅北口噴水のライトアップ等と併せて、更なる魅力ある空間づくりを図る。

- 保津橋イルミネーション改修工事
 - ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにて実施



土木管理課 TEL0771-25-5044

充 実

バスの魅力再発見！ ノーマイカーDay事業他

予算額 134,596千円
(前年度予算額 120,399千円)

《バス交通関連経費》



市内バス事業者と連携・役割分担をしながら、市民の生活バス路線を維持確保するとともに「亀岡市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域に根ざした持続可能な公共交通の実現に向け、バス交通の維持や利便性の向上等を推進する。

- 【継続】市民ノーマイカーDay事業(6回予定)
- コミュニティバス運行(亀岡地区・篠地区)
- ふるさとバス運行
- 【充実】地域主体型交通に対する運行補助
(交通空白地等地域生活交通事業補助)
- 地方バス路線運行維持費補助
- 【新規】公共交通事業者感染症防止対策等運行支援補助金 ほか



桂川・道路交通課 TEL0771-25-5070

新 規

気候変動を踏まえた 防災・減災のあり方検討事業

予算額 2,180千円

《桂川流域治水対策経費》



近年の気候変動に伴う豪雨の激甚化・頻発化が予測される中、被害防止・軽減のため、河川整備が行われているものの、完成には長期間を要し、その間にも豪雨による河川の氾濫等の危険を有している。

そこで、河川整備による対策のみならず、河川周辺の公園緑地や田園地帯等を活用したグリーンインフラの構築等、流域全体で治水対策を行う仕組みを取り入れ、持続可能な防災・減災のまちづくり形成を図る。

- 流域空間デザイン検討会議



桂川・道路交通課 TEL0771-25-5070

充実

緑の基本計画改訂事業

予算額 6,820千円

《都市計画決定業務経費》



緑の基本計画

都市緑地法に基づき、市町村が、「緑」の現状や多様なニーズを踏まえ、公共施設としての「緑」や民有地の「緑」を幅広く捉え、「緑」に関する将来像を定める。

平成26年3月の「亀岡市緑の基本計画」改訂から8年が経過する中、社会経済情勢や都市構造の変化に応じて、本市では「亀岡市景観計画」、「亀岡まるごとガーデンミュージアム構想」など「緑」に関する施策を進めており、これらに整合した計画の策定が必要になっている。また、令和3年4月に「第5次亀岡市総合計画」が策定され、令和4年3月には「亀岡市都市計画マスタープラン」が改定予定であることから、上位計画や関連計画と整合を図り、緑の将来像とその実現に向けた改訂を行う。



都市計画課 TEL0771-25-5040

充実

亀岡駅南周辺地区”歴史的景観を活かした新たなまちの顔づくり”事業

予算額 276,075千円

(前年度予算額 190,190千円)

《景観形成事業経費／土地区画整理関連事業費／公園緑地整備事業費／道路新設改良事業費》



「歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる新たなまちの顔づくり」のため、『歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり』、『駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり』、『住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出』の各目標を掲げ、各事業を推進する。

- 城下町エリアの伝建地区指定に向けた支援業務
- 亀岡駅南地区まちづくり事業化検討業務
- 南郷公園・京町児童遊園・内丸町簡易児童遊園修景整備
- 道路新設改良事業費
 - ・(都)亀岡停車場三宅線修景整備
 - ・(都)並河亀岡停車場線修景整備
 - ・(都)西町亀岡停車場線修景整備



都市計画課 TEL0771-25-5046
 都市整備課 TEL0771-25-5071
 桂川・道路交通課 TEL0771-25-5074

継続

人と環境にやさしいまちづくりを支援する事業

予算額 233,900千円
(前年度予算額 468,860千円)

《土地区画整理関連事業費》



土地区画整理事業に合わせて整備の必要な公共施設の整備を行い、魅力あるまちづくりを進めるとともに、地域の特性に応じた新たなまちづくりを進めるため、まちづくり事業調査を行い、安全・快適で機能的な市街地の形成を誘導する。

- 亀岡駅北周辺地区(2期)都市構造再編集中支援事業
(都)亀岡駅北公園整備工事
- 道路新設改良事業
市道高野林12号線道路整備
- 土地区画整理事業調査
まちづくり基本調査業務委託(篠町篠洗川地区)



都市整備課 TEL0771-25-5076

継続

安全なわが家の耐震化促進事業

予算額 12,060千円
(前年度予算額 15,460千円)

《安全なわが家の耐震化促進事業費》



地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化を促進する各種助成事業を実施する。

- 木造住宅耐震診断士派遣制度
- 木造住宅耐震改修事業費補助金
 - ・ 耐震改修 1戸あたり最大100万円
 - ・ 簡易耐震改修 1戸あたり最大40万円
 - ・ 耐震シェルター設置 1戸あたり最大30万円



建築住宅課 TEL0771-25-5048

充実

デジタルマーケティングを活用した シティプロモーション事業

予算額 12,000千円

(前年度予算額 12,181千円)

＜広報経費＞



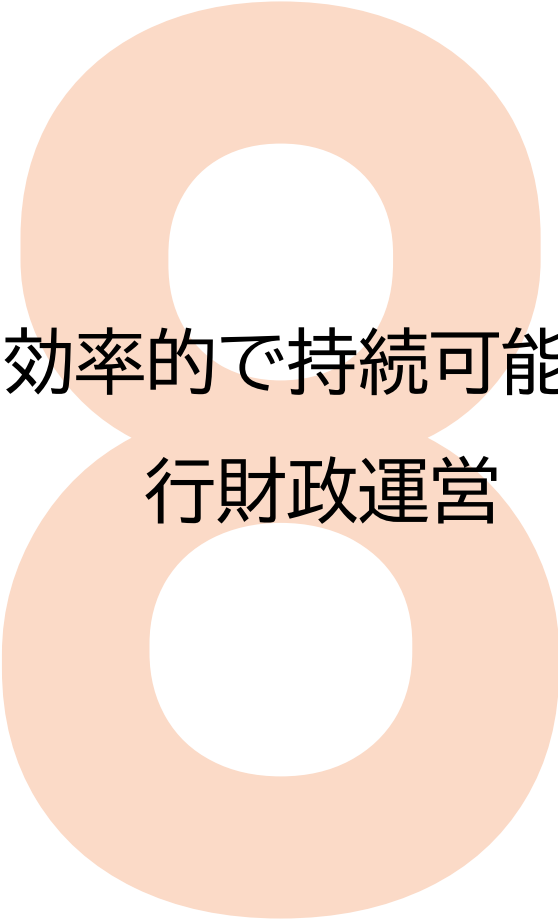
ユーザーの趣味嗜好・年代・性別・居住地など詳細なターゲット設定が出来るデジタル広告を戦略的に配信することで、シティプロモーションにつなげる。

ホームページアクセス履歴・広告接触者情報や認知度調査などのデータをもとに事業を実施・改善するPDCAモデルを構築する。

- デジタルマーケティングの手法を活用し、施策のターゲットを明確にした情報発信結果を各種データをもとにフィードバックし、事業効果の拡大を図る。
- デジタルマーケティングの専門家による研修や、各種事業への具体的なアドバイスを通じ、施策効果の増大と、ノウハウの蓄積につなげる。



広報プロモーション課 TEL0771-25-5003



効率的で持続可能な
行政運営

充実

SDGs未来都市亀岡推進事業

予算額 2,300千円
(前年度予算額 1,633千円)

《SDGs推進経費》

「亀岡市SDGs未来都市計画」の達成に向けて、市民の皆様や各事業者、関係団体等と一緒に考える機会や情報を共有できる場を持つことで、さらなるSDGsの取り組みを推進する。

- Pepper(ペッパー)を活用したSDGs教育プログラム開発事業 **【新規】**
小中学生向けに亀岡版SDGsプログラムを作成
- SDGsをテーマとしたアイデアソン事業 **【新規】**
事業者や団体等とともにSDGsのゴールを意識したWS等を開催
- 市内事業者向けSDGsセミナーの実施
- SDGs推進本部および幹事会の運用による「亀岡市SDGs未来都市計画」の進捗管理
- 特設ホームページの充実
- 官民連携・広域連携の促進
- 広報紙等の活用によるSDGsの発信



SDGs創生課 TEL0771-56-8520

充実

議会活動経費

予算額 24,446千円
(前年度予算額 22,561千円)

《議会活動経費》

二元代表制としての役割を果たすため、「亀岡市議会基本条例」に基づき、積極的に議会活動を進め、市民と共に歩む議会を目指している。また、議会の活性化を一層進めることにより、より市民にとって開かれた身近な議会を実現し、市政の問題解決に取り組み、市民福祉の増進に寄与する。



- 通年議会による本会議・各委員会での審議・審査の充実
- 議会だより、インターネット中継、わがまちトーク等による広報広聴機能及び調査研究活動の充実
- タブレット端末の活用によるペーパーレスの推進及び緊急時を含めたリモート会議の実施
- 可動式モニター導入による議場の充実及び資料データの表示 **【新規】**

議会事務局 TEL0771-25-5051

新規

DX推進事業

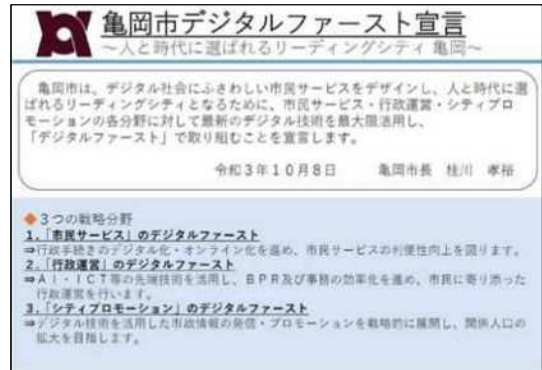
予算額 38,365千円

≪電算管理経費／情報化推進経費≫



亀岡市デジタルファースト宣言に基づき、市民サービス・行政運営・シティプロモーションの各分野に対して「デジタルファースト」で取り組み、自治体DXを推進するための事業を実施する。

- 『行政手続ガイド』の導入
⇒引越しなどのライフイベントごとに、自分に必要な手続きや持ち物が、簡単な質問に答えていだけでわかるWEB上の手続き案内サービスを導入する。
- 『行政手続のデジタル化・オンライン化』の推進
⇒ぴったりサービス(マイナポータル)と新しい電子申請サービスで「デジタルtoデジタル」の申請環境を構築し、スマートフォンなどから申請可能な手続きを拡充する。
- スマートフォン体験教室の開催(月1回程度)
- AI議事録作成ソフトの導入
- 新グループウェアの導入



情報政策課 TEL0771-55-9454

充実

マイナンバーカード交付推進事業

予算額 20,689千円
(前年度予算額 12,579千円)

≪戸籍住民基本台帳経費≫



個人番号カード(マイナンバーカード)の普及率を大きく向上させるため、マイナンバーカードの申請及び交付を推進する。

- マイナンバーカードの申請を推進する業務
出張申請窓口(大型商業施設等)の充実
休日申請窓口(市役所)の充実
特設申請サポート窓口の充実
- マイナンバーカードの交付を推進する業務
休日交付窓口の充実
夜間交付窓口を実施



市民課 TEL0771-25-5019

充実

ふるさと納税推進事業

予算額 2,730,954千円

(前年度予算額 1,811,843千円)

《ふるさと力向上経費》



ふるさと納税制度を活用して本市の魅力进行PRすることで、寄附金の増額を図り、本市財源を確保するとともに、返礼品として地元産品・サービス等を活用し、本市の産業振興・地域経済の活性化につなげる。

- 令和4年度は寄附総額18億円+αを目指す
- ふるさと納税による寄附の受付及びワンストップ特例申請受付業務
- ポータルサイト(10サイト)を活用した情報発信及び寄附者の利便性向上
- 市内事業者等と連携した本市の地域資源を活用した魅力ある返礼品開発
- 京都・亀岡ふるさと力向上基金への寄附金の積立



亀岡市ふるさと納税のご案内

SDGs創生課 TEL0771-25-5060

特別会計

継続

国民健康保険事業(特別会計)

予算額 9,370,000千円

(前年度予算額 9,210,000千円)



亀岡市国民健康保険に加入する人が病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、医療保険事業の運営を行う。

京都府国民健康保険運営方針に基づき算定された、事業納付金や標準保険料率をもとに、保険料を賦課徴収し、納付金を納付するなどの事業運営を行う。

また、国民健康保険加入者の健康保険証の発行、医療費の給付、保健事業などの事務を行う。

- 国民健康保険への加入、脱退手続き
 - 国民健康保険料の賦課決定及び徴収
 - 医療費の給付
 - 療養費等の申請受付、支給事務
 - 被保険者の健康の保持増進のための保健事業 など
- 【令和4年度新規事務】
- 未就学児の均等割保険料軽減制度導入



保険医療課 Tel.0771-25-5025

継続

休日診療事業(特別会計)

予算額 22,800千円

(前年度予算額 23,000千円)



市民の安全・安心を確保することを目的に、ほとんどの開業医が休診する日曜日、祝日、振替休日、年末年始に、緊急に医療を必要とする市民に対応するため、休日診療所を開設し、内科及び小児科の応急的な診療を行う。

年間診療日数：令和4年度 71日

診療科目：内科、小児科

出務体制：医師、薬剤師、看護師、医療事務員、事務職員

診療体制：1診療体制を基本にゴールデンウィーク、
年末年始は2診療体制で診察
インフルエンザ等の流行期に、患者の急増が
予測される場合は、急遽2診療体制で診察を実施



亀岡市保健センター内 1階

健康増進課 Tel.0771-23-5636

継続

介護保険事業(特別会計)

予算額 7,284,000千円

(前年度予算額 7,089,000千円)



急速な高齢社会の進展に伴い、誰もが直面する「介護」を社会全体で支える仕組みである介護保険事業の円滑な実施に努める。また、高齢者が住みなれた自宅や地域で安心して暮らしていけるように、一人ひとりの状況に応じた介護予防事業を推進するとともに、地域における高齢期の包括的・継続的なマネジメントを推進する。

- 介護給付事業
 - ・ 介護サービス給付事業
 - ・ 介護予防サービス給付事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業
 - ・ 介護予防・生活支援サービス事業
 - ・ 一般介護予防事業
- 包括的支援事業
 - ・ 地域包括支援センター運営事業
 - ・ 生活支援体制整備事業
- 任意事業
 - ・ 介護給付等費用適正化事業
 - ・ 家族介護支援事業
 - ・ 地域自立生活支援事業



(元気アップ講座の風景)

高齢福祉課 TEL0771-25-5032

継続

後期高齢者医療事業(特別会計)

予算額 1,361,600千円

(前年度予算額 1,231,100千円)

75歳以上(一定の障がいがあると認定された65歳以上75歳未満の人を含む)の高齢者が将来にわたり安心して必要な医療が受けられるようにするため、後期高齢者医療制度の安定的な運営に努める。

制度の運営は、京都府内の全ての市町村が加入する京都府後期高齢者医療広域連合が行っている。

【広域連合が行うこと】

- 被保険者の認定
- 被保険者証の発行
- 保険料の決定
- 医療を受けたときの給付 など

【市が行うこと】

- 被保険者証等の引き渡し
- 保険料の徴収事務及び相談業務
- 広域連合へ保険料や医療費負担分等の納付
- 葬祭費、療養費、高額療養費、傷病手当金等の申請受付 など

【令和4年度新規単年事務】

- 窓口負担割合見直し(2割負担)に伴う業務
- ・保険証の発送(通常年1回を年2回発送、約13,256人)



保険医療課 TEL0771-25-5026

継続

土地取得事業(特別会計)

予算額 1,200千円
(前年度予算額 4,300千円)



地域のにぎわいと交流・憩いの場の創出と、アコモドキの生息環境や良好な自然環境を保全し、自然と共生する総合公園として京都・亀岡保津川公園整備を推進するために先行取得した土地の一般会計買戻しによる譲渡等を行う。

- ・ 先行取得した土地の一般会計買戻しによる譲渡



都市整備課 Tel.0771-25-5071

継続

おいしい水を安定的に供給する水道(特別会計)

予算額 3,212,400千円
(前年度予算額 3,233,500千円)



市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水道水の安定供給のため、水道施設の長寿命化や規模の適正化を図るとともに、計画的かつ効率的な施設の整備及び維持管理を推進する。

- 送配水管の整備及び老朽管の耐震化率向上に向け、水道施設の計画的な更新を実施
 - ・ 王子送配水管整備工事
 - ・ 水道老朽管耐震化工事(2箇所)
- 水道用水供給事業による施設利用率の向上と収益の確保



上下水道部各課 Tel.0771-25-6761

継続

水質保全と快適な暮らしを築く下水道 (特別会計)

予算額 5,214,100千円
(前年度予算額 5,124,400千円)



下水道の整備による生活排水の処理を通じて、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちを守り続けるため、下水道施設の適正な維持管理及び改築更新を推進する。

- 下水道ストックマネジメント計画に基づき、年谷浄化センターの改築更新事業等を実施
 - ・ 年谷浄化センター改築更新工事
(沈砂池設備、自家発電設備、ポンプ設備)
 - ・ 下水道ストックマネジメント計画策定(管渠・処理場)
 - ・ 下水道事業計画策定
- 年谷浄化センター消化ガス発電事業の円滑な運営による地産地消のエネルギー循環の推進



デザインマンホール



上下水道部各課 Tel.0771-25-6761

継続

市立病院事業(特別会計)

予算額 3,743,000千円
(前年度予算額 3,248,000千円)



公共性と経済性を考慮し、効率的な病院経営を行うとともに、公立病院に求められる高度で良質な医療の提供と各医療機関との地域連携により、市民に信頼される市立病院を目指す。

主な目標

- 新公立病院改革プランのアクションプランに続く、新中期計画により、進捗状況を逐次分析する中で、持続可能な病院運営に努める。
- 医師及び医療スタッフの確保を重点課題とした診療体制の充実、今後増加が予想される在宅医療に対応するための基盤づくり、新型コロナウイルスワクチン接種やコロナ患者受入れ等、公立病院としての役割を果たし、引き続き高度で良質な医療の提供を図る。
- 各医療機関との医療連携を進めるとともに、医師会との病診連携懇話会の開催、病院広報誌の発行、フェイスブックやホームページによる情報発信等、市立病院のPRを積極的に行う。

病床数	一般病床100床
診療科目	消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・一般内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・麻酔科・皮膚科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科(その他標榜科目 放射線科)
年間入院患者数	入院 27,375人 外来 60,750人 を見込む
一日平均患者数	入院 75人 外来 250人 を見込む
建設改良費	MRI、人工呼吸器、手術用ベッド、ベッドサイドモニター等更新

病院総務課 Tel.0771-29-2621

SDGs 17の目標

亀岡市はSDGs未来都市として、霧の芸術祭をハブとし、世界に誇れる環境先進都市などのさまざまな施策を分野横断的に推進することで、地域内消費の向上や交流人口の創出などを通じた持続可能なまちづくりに挑んでまいります。



SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、平成27年9月の国連サミットで193の国連加盟国の全会一致で採択されたものです。持続可能な社会を目指すために2030年までに達成すべき17のゴール(目標)と169のターゲット(具体的目標)から構成されています。